



2学期の子どもたちの成長

～支えてくださっている方々に感謝～

令和6年度の2学期も終わりとなります。残暑の夏から秋、そして、冬の3つの季節を過ごす中で、本校の子どもたちは、大きな事故等もなく元気に学校生活を送ることができました。まずは、そのことが一番喜ばしいことです。2学期は、秋季大運動会や秋の校外学習、そして、修学旅行等の大きな行事が行われました。これらの行事に取り組む中で、子どもたちの大きな成長が見られました。また、日々の学習や学校生活の中でも成長を続けています。このような日々を過ごすことができたのも、保護者や地域の皆様、関係機関の方々のご理解とご協力があってからのことです。感謝申し上げます。3学期は、一番短い学期であり、次の学年へつながる学期でもあります。1・2学期同様、本校教育へのご理解とご協力をお願い申し上げます。どうぞ、よいお年をお迎えください。



第2回学校運営協議会

～熱心な熟議とともに～

12月2日（月）に第2回学校運営協議会を行いました。坂田町長、中西教育長にもご参加いただきました。今回は、今年度取り組んできたこと「地域の文化・伝承」「中庭再生」「防災～学校と地域の連携～」について説明を行い、熟議致しました。その中でも特に「防災」については、これまでの取り組みや今後の都農町や地域との連携についてなど、たくさん意見が出されました。「登下校時に地震が起きたときに、『学校に行く』『学校から引き返す』等の統一した指導があるとよい。地域の方がそれを知りたいれば、地域でも指示ができる。」「防災に関する訓練等は、親子で取り組む必要がある。」等の意見が出されました。本校の学校運営協議会は、活発な熟議がなされ、とても充実しています。出された意見を今後の学校運営の参考にしていきたいと考えております。



パーキンソン病について学びました

12月12日（木）に、全国パーキンソン病友の会と宮崎大学医学部学生による授業が行われました。全国パーキンソン病友の会から8名、宮崎大学医学部から8名の方々がお見えになり、6年生を対象に授業を行いました。「パーキンソン病とはどのような病気なのか」「どのようなことが原因でなるのか」「どのような症状が現れるのか」「どのような治療がなされるのか」など、医学部の学生から詳しい説明がありました。また、全国パーキンソン病友の会の方から、生活上で困ったこと等の体験談を話していただきました。「病気の特性から迷惑をかけたくないけれど、かけてしまう。けれども、命ある限り頑張って生きていきたい。」等の内容を話され、子どもたちは真剣な表情で話に聞き入っていました。その後、みんなでできることを考える場面がありました。大学生も各班に入り、子どもたちと一緒に話し合いました。その中で、「レジで一緒に会計をする」「止まっていたら一緒に歩く」「困っていたら大丈夫ですかと声をかける」の思いやりのある温かな意見がたくさん出されました。



今回の学習を通して子どもたちは、病気など様々な立場で懸命に生活をおられる方々に目を向け、思いやりのある温かで優しい社会にしていこうという思いをもってくれたことだと思います。この子どもたちが、思いやりがある温かでやさしい都農町の未来を切り拓いてくれることでしょう。

篠別府地区での棒踊り奉納

12月13日（金）に5年生が、篠別府地区の冬祭りで棒踊りを奉納しました。5年生は、これまで運動会での棒踊りを披露することを目指して篠別府地区棒踊り保存会の方のご指導の下、練習を重ねてきました。昨年度は冬祭りで踊られなかった棒踊りを、昨年度から都農南小学校の5年生が踊らせていただけるようになり、篠別府地区の冬祭りの一助を担うことができたことは南小の喜びでもあります。棒踊りを披露した後は、地域の方の温かなぜんざいのおもてなしを受けました。宮司さんからお土産のお菓子までいただきました。たくさんのおもてなしに感謝申し上げます。今回の棒踊り奉納は、学校運営協議会におけるご熟議で実現したものです。これからも都農南小学校は、地域とともにある学校を目指していきます。



1月の主な行事

- 1月6日(月) 始業式 ※給食はありません。
- 1月15日(水) 幼保小連携授業(1年生)
- 1月17日(金) 避難訓練(火災)
- 1月31日(金) 持久走記録会

